

京都GPN-news vol.14

京都グリーン購入ネットワークニュース

2008年度グリーン購入ネットワーク事業紹介

TOPICS

5周年記念

さらに京都から ひろがるグリーン購入!

京都グリーン購入ネットワークは今年、5周年を迎えます。今までの実績を踏まえ、さらにグリーン購入の取り組みをひろげるため、今年度もさまざまな活動を行います。

京都 GPN 設立5周年記念 / グリーン購入全国フォーラム開催

10月24日(金)
25日(土)

今年10月24日と25日に京都グリーン購入ネットワークの5周年記念事業を開催します。あわせてグリーン購入ネットワーク(全国組織)の全国フォーラムも京都市内で開催されます。フォーラムでは、毎年グリーン購入ネットワークが開催している、第10回グリーン購入大賞の表彰や、市民、自治体、企業を対象とした環境に関する分科会を予定しています。京都において、グリーン購入や温暖化防止の取り組みをさらに深め、広げていく機会をつくります。

環境に配慮した買い物のコツを知ってもらう 「グリーン購入キャンペーン」

昨年に引き続き一般市民を対象に、環境に配慮した商品サービスの選択をすすめる「グリーン購入キャンペーン」を行います。今年は全国グリーン購入ネットワークが開催する「500万人のグリーン購入キャンペーン」と連動し、会員企業をはじめ、マスコミや「買う現場」となる小売業界にも働きかけを行う予定です。具体的には、「ごみの発生が少ないものを選ぶ」「省エネ性能のすぐれた製品を選ぶ」「近くでとれた野菜や果物を選ぶ」という3点をアピールします。ぜひ、このキャンペーンを活用し、職員や社員の環境の取り組みをすすめてみましょう。



自治体のグリーン購入取り組み事例集の作成

京都府内外の自治体による具体的なグリーン購入の取組事例を作成します。昨年行ったアンケートでは、グリーン購入の必要性は分かるけれども、実際どう取り組んでよいのか分からない、といった兆候が見られました。また、取り組みが庁舎内にとどまりがちで、地域の事業者や市民にどうひろげていくか、といった視点や実際の取り組みアイデアが不足していることもわかりました。そこで、今年は具体的な事例を集め、公開することによって、それらの課題を解決していきます。

昨年行った自治体アンケート結果はウェブサイトからご覧になれます。
http://www.k-gpn.org/0a_topics0712_2.html



ホテルの環境の取り組みをすすめよう！ エコホテルフォーラム開催

昨年、宿泊施設の環境への取り組みをすすめるため、京都府内の旅館、ホテルに環境の取り組み状況についてアンケートを行いました。約140件の送付に対し、約40件の返却があり、また、結果からは旅館やホテルの環境の取り組みへの関心が高まっていることがわかりました。

そこで、今回、宿泊施設の環境の取り組みをすすめていくための場づくりとして、フォーラムを開催します。フォーラムでは、「これからのホテルのトレンドはエコだ！」をテーマに、アンケートの結果や事例をまじえながら、環境に取り組むことが新たなサービスや魅力になることをお伝えする予定です。また、企業の取り組みとして、社員が出張する際に環境配慮型ホテルを選ぶようにすすめる、といった「エコな出張スタイル」も提案する予定です。

……これらの事業は、会員の参加によって実施をしています。

会員であればどなたでも参加できますので、関心のある方は事務局までお問い合わせください。

Information

エコホテルフォーラム：くつろぎと環境の調和 ～ここまできた！ホテルの環境への取り組み～

- 日時：2008年7月3日(木)
13:00 受付開始
開会 13:30～17:00 (閉会予定)
- 場所：株式会社村田製作所ホール
(長岡京市東神足 1-10-1 JR長岡京駅前)
- 定員：100人
- 対象：環境に取り組もうとしているホテル、旅館の担当者／エコロジカルな旅をすすめようとしている旅行関係者／出張の際にエコなホテル選びをすすめようと思っている企業や行政の担当者
- 参加費：資料代 2000円
(京都グリーンネットワーク会員は無料)
- 申込み：事務局まで、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、会員、非会員を明記の上、FAX、メールにてお申し込みください。
- 主催：京都グリーン購入ネットワーク
- 後援：グリーン購入ネットワーク (以下予定)
京都市、京都新聞、社団法人京都府観光連盟、京のアジェンダ 21 フォーラム 他

この企画は京都府からの委託事業として、(株)村田製作所など京都グリーン購入ネットワークの会員企業や自治体等の協力により実施しています。

内容

- ①京都 GPN による府内ホテルの環境の取り組みに関する調査結果の紹介
- ②基調講演
(株)星野リゾート
環境マネジメント担当 塩手勝久さん
- ③パネルディスカッション
「これからの旅のトレンドはエコだ！」
これからの宿泊選びに「環境」をどう活かしているのか、その可能性を議論する。

【事例紹介】

ホテルグランヴィア京都他、(アンケートの中から、京都府内で取組が進んでいる2つのホテルの事例を紹介する予定)

【パネラー】

(株)星野リゾート、ホテルグランヴィア京都、ホテルジャーナリスト せきね きょうこさん、グリーン購入ネットワーク、その他企業 他

【コーディネーター】

宗田好史さん
(京都府立大学大学院生命環境学研究所准教授)

○交流会 (場所：京都駅周辺で調整中)



— 新聞古紙100%製品からはじまる循環型社会づくり —



有限会社コンパス 代表取締役社長 侯野 幸男さん

今年はじめに発覚した古紙偽装。大手製紙メーカーの態度にあきれ、「偽装していない紙製品」を探すのに奔走した人もいるだろう。「偽装」とは無縁だったメーカーの一つが会員である有限会社コンパス。新聞古紙100%の紙にこだわり、紙の開発から手がけてきた。「ほんまもんは一体どれなのか、今こそ考えてほしい」。代表取締役社長の侯野幸男さんにお話をうかがった。

■新聞古紙へのこだわり

京都GPNでも、コンパスさんの新聞古紙100%の封筒を使っている。色は新聞紙より濃いグレー。再生紙をつくる際に、脱墨や漂白をしていないためだ。脱墨や漂白をすると、その分、薬品や大量の水を使い、環境への負荷が増える。「極めてナチュラルにしたかった」という侯野さん。なぜ、そこまで新聞古紙にこだわったのだろうか。

会社を設立したのは1996年。以前は製紙業界にたずさわっていた。人前にはできないもの、環境のために何かつくりたいと思っていたところ、ソニーが雑古紙100%の紙を使っていることを知り、中でも繊維の質がいい新聞古紙で紙をつくれれば、リサイクルをすすめることになるのではないかと思いついた。知り合いには「できるわけがない」と断言されたものの、それで引き下がる侯野さんではなかった。

しかし、実際の開発は難航。試作したところ、一見、ちゃんと紙になっているものの引つ張ると破れた。大手メーカーの中には「20%ぐらいパーズンバルプまぜたらいいのでは」という人もいた。「みんなが真正銘新聞古紙100%でつくろう」と思っていたきになんてことをいうんだらうと思いましたが、その頃から、偽装の芽はあったのだろう。

なんとかできあがった紙は、今、封筒として販売している。今回の古紙偽装の影響で少しずつ注文は増えているものの「まだ正直赤字にならない程度」。それでも、「いつか社会が『ほんまもん』を分かる日が来るだろうし、応援してくれる人達がいるから」とあきらめずに製造を続けている。

■いつか実現したい新聞古紙段ボール

侯野さんにはいつか必ず実現したい新聞古紙製品がある。それが「新聞古紙100%リサイクル段ボール」。新聞古紙から段ボールをつくって新聞古紙回収に出す、そしてまた段ボールに

する。そんな循環の環を描いた。試作をし、「ニュースペーパーからニュースペーパーへ」という意味が込められたロゴマーク（参照写真）もつくった。単にひとつの商品をつくるというより、ひとつの素材の「循環ルート」をつくりたいという想いがあった。

しかし、これも実現には「コスト高」がたちはだかった。段ボールはそもそも単価が安い。それを新聞古紙100%でつくるとどうしても割高になってしまいう上、ある程度、量がないと生産できない。

侯野さんは、省庁や業界団体、自治体や企業などに「新聞古紙利用」のルートをつくるために交渉にかけずり回った。しかし、たらい回しにあってたり、仕事が増えたと面倒がられたり、相変わらず「白さ」にこだわられたり、と壁だらけだった。「交渉ばかりしているとどうしても本体の組織がだめになってしまいう。結局、交渉は中断し、その他の文具の販売に力を入れざるを得なくなつた。でも「本当はこちらに力をいれたい。意思のあるメーカー、スポンサーを見つけ、いつか必ず形にしますよ」。侯野さんの言葉に力が入った。

■産官民の協力が重要

古紙偽装のあとも、再生プラスチック偽装や大手菓子メーカー、料亭の偽装が相繼ぐ。「メーカーはもつと事実を堂々とだすべきでしょう。その上で、市民の判断を問うべきでは。市民ももつとちゃんと判断すべきでしょう」。

役員紹介



京都府生活協同組合連合会
専務理事 小峰 耕二 さん

消費者・事業者・行政・専門家などすべての社会構成員の環境問題への取組み参加が求められています。くらしや事業の多様な分野でグリーン購入の輪を広げましょう。当連合会の会員生協では、組合員活動と事業活動の両面での環境対策をすすめています。皆さん、ご一緒がんばりましょう。

偽装後も、情報開示に真摯な対応をしないメーカー、偽装があったことを忘れたかのように買いに走る消費者。グリーンな市場をつくっていくための両輪となる、生産者と消費者のあり方が問われている。「循環型社会は企業だけでは実現できない。産官民が一体になる必要がある」。紙の開発から、行政企業、消費者に働きかけを続けてきた侯野さんの言葉には説得力があった。
(文/事務局 有川 真理子)

★旅行や出張で京都に来られる方におすすめ!★

環境に取り組むホテルを紹介「京エコホテル&旅館ガイド」

<http://www.k-gpn.org/ecohotel-ryokan/>

京都グリーン購入ネットワークが、昨年行った京都府内の旅館、ホテルに環境の取り組み状況についてのアンケートをもとに、ある一定の基準を満たしたホテルを紹介するウェブサイトができました。また、アンケート内容も公開。さらに、エコなホテル選びのポイントも紹介しています。旅館については、今後、ニュースレターで紹介していく予定です。

宿泊先選びは、旅のスタイルに大きな影響を与えます。とりわけ、「エコ」という新しいサービスの提供は、これからの旅に大きな価値をも

たらすことでしょう。「エコ」な旅館・ホテルを選ぶことは、その取り組みを応援することにもつながります。

ぜひ、京都に出張や旅行で来られる方に宿泊先を紹介する場合は、グリーン購入ネットワークの「エコチャレンジホテル」とあわせて、ぜひこのウェブサイトをご紹介ください。

エコチャレンジホテル旅館データベース

<http://www.ecochallenge.jp/>



グリーン名刺

交換会

会員さんの誌上名刺交換会コーナーです。

(株) 京都センチュリーホテル

■担当者：管理部施設課 課長 高橋 裕文

■連絡先：〒600-8216

京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町
680 番地

TEL) 075-351-0861

FAX) 075-351-0862

E-mail)

takahashi-h@kyoto-centuryhotel.co.jp

■グリーン購入に関して企業 PR

京都センチュリーホテルは、京都駅の東隣に立地するホテルです。平成 16 年より KES 環境マネジメントシステムを導入し、エネルギーや廃棄物の削減・地場食材の利用など、地球にやさしく、お客様に対し、安心・安全・快適な空間と時間を提供できるよう努力しております。これからも、社員一人ひとり「エコホテル」をめざしていきたいと思っています。



株式会社 洛東建設

■担当者：営業部長 木下 勉

■連絡先：〒601-8177

京都府京都市南区上烏羽馬廻 35 番地 2

TEL) 075-661-6552 FAX) 075-671-9106

E-mail) rakuto@io.ocn.ne.jp

■グリーン購入に関して企業 PR

環境への取組：① KES ステップ 2 取得②エコ京都 21 スタイル部門③エコ京都 21 地球温暖化対策部門④エコドライブ宣言登録事業所⑤グリーン購入ネットワーク会員。

弊社では、建設工事に伴う残土のリサイクルで地球温暖化防止を行っています。残土処分は、処分地のキャパシティに限りがあり、今後、リサイクルの必要性が高まると予想されます。また、京都市内にある吉祥院リサイクルセンターを利用して処分し、輸送距離を削減。地球温暖化対策を行う事業所として京都府から認定を受けています。造園業・上下水道業・ガス工事業・あらゆる建設業会の掘削産業廃棄物処理は洛東建設にお任せ下さい。

4 軸ロールクラッシャー



コンクリートなどを破砕し、再資源化するための機械

京都グリーン購入ネットワーク 会員数 (2008 年 5 月末現在)

■会員数：138 (内訳：企業 102/ 自治体 7/ 団体 20/ 個人 9) ■新入会員：1 (内訳：個人会員)

お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

[TEL] 075-241-4664 (FAX 同) [E-mail] kgpn@dolphin.ocn.ne.jp

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル 3 階 特定非営利活動法人 環境市民 内

会員募集中!



京都グリーン購入ネットワーク

2008 年 5 月発行